

# 庁舎整備に係る関係団体との意見交換

## 報 告 書

(平成 27 年 7 月 24 日終了分)

平成 27 年 (2015 年) 7 月

旭川市総務部



## 1 目的

本年4月、「旭川市庁舎整備基本構想策定に向けた検討資料」をとりまとめ、新庁舎の機能や役割、規模、建替え場所などを比較検討するための基礎資料として市民に公表したことから、この検討資料を広く周知するとともに、多くの方々から意見をお聞きするため、市内の市民活動団体、福祉関係団体、経済関係団体、女性団体、青少年団体、建設関係団体など様々な団体と意見交換を実施した。

## 2 意見交換の方法

「旭川市庁舎整備基本構想策定に向けた検討資料（概要版）」を用いて、庁舎整備のこれまでの検討経過や現在の検討状況について説明した後、機能や役割、規模、建替え場所などについて、参加者が自由に発言する形で実施した。

## 3 主な意見内容

意見交換で出された主な意見については、次のとおりである。

なお、意見については要旨を記載し、類似した意見については集約した。

### (1) 庁舎の建替え場所について

#### ア 現庁舎周辺エリア

- 以前の庁舎も現庁舎の近くであり、市民に親しまれている現庁舎周辺が良い。
- 市民アンケートでは、現庁舎周辺エリアが50%以上であるので、その結果を重視すべき。
- 駅からの人の流れを4条以北に引き込むには、現庁舎周辺が良い。
- 建替えの間の議会運営を考えると問題が多いので、第三庁舎敷地が良いが、狭いので、将来的に中央警察署の敷地を含めて使うのが良い。
- 買物公園と7条緑道の軸線がつながった先に市役所があり、そこに人が誘導出来るような庁舎にしていく事を考えていく必要がある。
- 建替え場所がない中で、現在の庁舎を壊して建て替えるのは当たり前の話である。
- 高齢化が進み、公共交通で行けるところでなければ難しいことを考えると、現在の位置が良い。
- 現庁舎の前の土地や文化会館の建替えも併せて検討し、その位置に新庁舎を建て、その後現在の庁舎を壊せば良い。
- 市職員の昼休み時間が15分短縮され、職員が外食しなくなったことで、周辺の飲食店は影響を受けている。昼休みを1時間にして、周辺にお金を落としてもらえパターンAが良い。
- 文化会館、第二庁舎、ホテルがあることを考えると、現庁舎周辺が一番良い。現庁舎を残したまま、第三庁舎に新庁舎を建て、そこに移動した後、本庁舎を壊し

て駐車場にすると良い。

- 北都中学校跡は仮設庁舎に使えるのではないかと。体育館もうまく使えば、パターンAの仮設庁舎は出来る。
- 現庁舎周辺ではないエリアに建てると、現庁舎周辺が空洞化してしまうので、現庁舎周辺が一番良い。
- 現庁舎周辺で、機能の集約化が出来る事が望ましい。
- 分散化の解消を目的とした総合庁舎を現庁舎周辺に建設し、中心部活性化のために市民が利用しやすい文化会館などの多目的施設を買物公園周辺に建設するのが良い。

## イ 買物公園エリア

- 買物公園をどうするかと考えると、4条以北の再開発のラストチャンスだと思う。北彩都だとバスが不便であるし、できれば買物公園付近が良い。
- 買物公園の歴史性や活性化を考えた場合、買物公園を軸とした中での庁舎というのが100年先を見据えたまちづくりという観点からも良いのではないかと。
- 現在の場所に建て替えたのでは中心市街地の活性化にはならない。須貝ビル跡地に、人が集まりやすい子育てや福祉の施設をまとめて持って行くなどしてはどうか。
- 買物公園エリアは、遠い距離ではない現庁舎に駐車場があり、そこを利用できる。分散すると不便な機能を集約すると良い。
- 買物公園の空き店舗が増えているので、旭川駅前の対面に位置する場所に建て、中心部が活性化するようにすると良い。

## ウ 北彩都エリア

- 庁舎を分散させないよう、一番敷地面積が大きい北彩都エリアが良い。
- バスの便が良い北彩都エリアにすべき。
- 駅周辺活性化の観点から北彩都周辺が良い。
- 北彩都エリアに建設し、一部を第二庁舎に分散させれば、駐車場が確保でき、費用も抑えられるのではないかと。
- 北彩都にある、JRの大きな敷地を検討に入れていないのが疑問。
- 北彩都エリアに建てると、人の流れが駅周辺に集中し4条以北が寂れてしまう。
- 旭川の今の交通体系からいくと、北彩都エリアは不便で有り得ない。
- 北彩都エリアは川の近くであり、水害を考えるとやめてもらいたい。
- 北彩都エリアは、駅前から遠くはないが、高齢者はドアトゥドアを求めるので、バスが北彩都エリアを通過するように再編すると、バス会社のコストアップにつながってしまう。

## エ その他

- 市役所に行った後に、買い物へと人が流れ、中心街が潤うような場所が良い。

- 旭川市は交通の便が良くないので、車を使うことを立地条件として考えてもらいたい。
- 文化会館，駐車場，第二庁舎と一緒に，総合的に考え方を整理していかなければならない。
- 新しい庁舎は，みんなが利用しやすい場所・庁舎にして欲しい。
- 買物公園や北彩都は民間にお願いして他の活用を考えると良い。
- 場所を先に決めると費用が膨れあがる可能性があるので，庁舎の大きさによって場所を判断して欲しい。
- 高齢化が進み，車にずっと乗れるわけではなくなる。バス利用者は総合庁舎に行くことになるので，交通の便の良いところに建ててもらいたい。
- 新庁舎を神楽地域に持って行くような思い切った発想で，旭川市全体の活性化につなげるべき。
- 大雪アリーナの横に公園があるが，そこをなくして庁舎を建ててはどうか。
- 新しい場所に建てると，元の庁舎や場所をどうするのかという問題になる。
- 土地の広さがなければ，その後の拡張性がない。土地が狭く駐車場の課題があるような場所では建設は難しいと思う。
- 建設中に仮庁舎に移ると，市民も非常に不便になるので，別の場所に建替えるのが良い。
- 特区申請をして，容積率を増加させることも考えてみてはどうか。

## (2) 庁舎の規模について

- 分散を解消させるため，大きなものが1か所に建ち，周囲に十分な駐車場があると良い。
- 人口が減っても，単純に職員の業務量が減るわけではないので，小さい庁舎で良いということにはならない。
- 職員配置と業務の簡素化を考えて規模を算定してもらいたい。
- ワンストップサービスを目指し，色々な民間機能が入るのは良いことである。
- 無駄なスペースはいらないが，ある程度余裕のある配置にし，空きが出たら市民が使うスペースにすれば良い。
- 市民があまり用事のない部局は分散しても良く，市民が多く訪れる部門が集約されていれば良い。
- 一般市民に迷惑がかからない範囲で分散化させ，民間ビルを借り上げないと周辺が衰退してしまう。
- 大型の庁舎建設には反対であり，長屋形式で良いと思う。
- 支所で全てが出来れば良く，支所機能を充実してもらいたい。支所を上手く活用して，本庁舎になくても良い機能を移して縮小してはどうか。
- 今，多少不便でも20年後不要なものは分散化し，20年後必要なものだけあれば良い。
- 人口減少についてもっと現実的に考え，コンパクトにできないか，庁舎に行かな

くてもできるサービスを増やせないかなど、極力無駄のない庁舎となるよう検討して欲しい。

- 庁舎が1つになるのが理想であるが、財政も厳しいので、一部分散させ、第二庁舎には窓口部門以外や、市民の交流の場などを配置してはどうか。
- 庁舎に全部入れるのではなく、コンパクトに分けて電車で回れるようにすると、電車の沿線には人が集まる。
- 庁舎が分散すると、その分警備費も多くかかるので、1つに庁舎を集約できる場所に建てるべき。

### (3)庁舎の機能について

#### ア 新たな庁舎機能について

- 市民が訪れやすく、休憩がしやすいような庁舎にしてもらいたい。
- 市役所に子どもが見に来るからくり時計を付けるとか、市役所前にイベント広場、役所内には著名人や市の歴史を学ぶような市民の広場があると良い。
- ラウンジのようなものはつくり、今までの機能の拡充で良い。
- 食べ物を食べる場所やお茶やコーヒーを飲む場所があると便利。
- 両親の共働きが増え、夕御飯を家族で食べる機会が少ないので、子ども同士で御飯を食べられるような食堂があると良い。
- スーパーやちょっとしたものが置いてあるコンビニがあると良い。
- 郵便局や銀行、ATMが併設されていると便利。
- 洋服屋や川のおもしろ館の様な施設があったら行きたいと思う。
- 運動ができる場所があると良い。
- 国や北海道の施設などを入れてはどうか。
- 子どもの一時預かり施設や、子育てサロンのような情報交換の場が必要。
- 4階までが市役所庁舎、5階以上をマンションにすると利便性が良く、間に子ども広場を設けると人が集って良いと思う。
- 旭川市内の大学が分散しているので、学びの場として庁舎にサテライト機能を持たせてはどうか。
- フィールド旭川にあるような自習室が設置され、そこに展示スペースや大学生が中高生に勉強を教える拠点があると良い。利用時間が長いと需要があると思う。
- 音楽やダンスなど音が出せる施設があると、集まった人でバンド組むような交流ができると思う。
- 市が中心となって中高生を集めるイベントが少ないので、シニア大学の高齢者が若者、学生に何かを教えるような異世代交流の拠点や、同世代の交流の拠点があると良い。
- 姉妹都市限定ではなく、気軽に外国の人と話せる場があると良い。
- 団体が、会議等で場所を確保したいときにすぐ借りられるようなスペースがあると良い。
- 団体同士や同じ趣味を持つ人同士の交流を申し込めるような拠点があると良い。

- 市が主体となって学生団体と関わりを持つ場を整理し、学生団体と関わるができる場所が市にあると嬉しい。
- 美術部や写真部の作品を無料で展示できる場所があると良い。
- 市民活動支援については、市民レベルの動きが活発化しているので、庁舎がその機能を持つ必要はない。
- 小学生ぐらいの子どもたちが職業体験する場や大学などの理科の先生がおもしろい理科の実験を見せるようなスペースがあると子どもが集まると思う。
- 悩み事を匿名相談できる学生の相談室があると良い。
- 無料のコインロッカーなど荷物を預ける場所があると良い。
- 持ち帰ることのできる古本があって、持ち帰る時に自分の読まなくなった本を入れるような本棚があると良い。
- わかりやすい案内があると市役所に行きやすい。イオンにあるようなタブレットとか、点字ブロックが矢印になっていて、何課はここにあり、このような仕事をしているというのがわかると有り難い。
- 屋上にプールや、緑があると良い。
- 庁舎に周囲の川を見渡せる展望台を造るなど、観光地として人を呼び込むようなものを造るべき。
- 中心部に人を集めるためには、庁舎の中に学校があっても良いと思う。
- 庁舎の中にバスの待合を造ってもらいたい。
- 市民の憩いの場を造り、木を植えると、現在のようにカラスが多くなるので、電線地中化なども考えた方が良い。
- 200人規模の会議室が複数あれば、3,000人規模の会議を誘致できる。庁舎と文化会館をセットで考えて、3,000人規模の会議を開催できるようにしてもらいたい。
- 外国人にも、旭川市がどのようなまちであるかわかるような設備を造ってもらいたい。
- 食堂には眺めの良い窓があった方が良い。

## イ 庁舎のイメージについて

- 外観を入りやすいデザインにし、若者が入りやすい待合室があったら若者も訪れると思う。
- フードテラスの様にガラス張りにして、何をしているか、何があるのか見える状態だと訪れやすいと思う。
- 北海道第二の都市として機能だけではなく、シンボリックで、観光で人が集まるようなランドマークとなるような庁舎を建てて欲しい。
- 庁舎そのものはシンプルで品が良いものにして欲しい。
- ただ庁舎が新しくなるのではなく、旭川市が変わりますよと訴えるようなものを建ててもらいたい。
- デザインにこだわっても、使い勝手が悪いと評判が悪い。

## ウ 行政事務機能について

- 1階部分は窓口ではなく、ホールにして、市民が集えるような場所にし、2階以上を事務スペースにするのが良い。
- 現在の庁舎は狭いので、職員が働きやすい環境づくりを第一に考えて欲しい。
- 無駄なエントランス空間はつくらず、職員のスペースとすべき。
- 時間外に対応してくれる窓口があると良い。
- 今後高齢者人口も増えるので、ワンストップサービスを念頭に置いて庁舎整備をしてもらいたい。
- 現在の執務室は、新旧の資料の山となっているので、マイクロフィルム化するか、倉庫に整理するかの方が良い。
- 窓口は、子連れの場合は、電話予約制とか子ども専用のレーンを設けると助かる。小さい子だとキッズスペースで黙って待つのは飽きてしまう。
- 窓口と通路の間に壁があると子どもの動きが見えない。窓口で申請書を記入している間に見失い探すことがある。オープンカウンターだと良い。

## エ 防災機能について

- 災害対応機能は防災センターにあるので、新庁舎に必要なのか疑問。災害時は学校の体育館に避難することが多いので、備蓄も避難場所にある方が良い。

## オ 議会機能について

- 議会をもっと市民が見に行きやすいものにしてもらいたい。
- 議会棟は1年の半分は使われていないので、音楽や文化発表に使えるように検討して欲しい。

## カ 駐車場について

- いつも駐車場が混んでいて止められないことがあるので、駐車場の確保を考えなくてはならない。
- 立体駐車場にすれば、除雪も不要で維持費がかからない。
- 全天候型の駐車場があるのが望ましい。
- 車いす利用者、子ども連れの親には、車からの乗り降りの際に安全な駐車スペースが必要。
- 第二庁舎に用事があり2台ある障害者用駐車場を利用したが、総合庁舎で証明を取るため車で移動し、再度第二庁舎に戻ると障害者用駐車場が埋まっていたということがある。
- 利用者によって場所が変わらないような車寄せを整備してもらいたい。
- 支所を充実させれば本庁の窓口機能が減らせるので、駐車台数が減るのではないか。
- 地下駐車場は面倒なので、地上の駐車場を便利にしてもらいたい。



#### (4)まちづくりについて

- 市役所正面の7条緑道は整備され、きれいになった。そこから買物公園へつながり、須貝ビル跡地に何かあると良い。
- 旭川は最北の拠点であるので、他に先駆けてやるような独自の戦略を持ってやって欲しい。
- 買物公園という先導性があるビジョンを持っていた街なので、一貫性と先導性を持ってまちづくりにあたってもらいたい。
- 市は計画性がない。若い人の意見をしっかり聴き、若い人が住みやすいようにすべき。
- 旭川市の人口減は止められないと思うので、旭川は災害が少なく安心して暮らせるまちだというようなPRをし、他地域から人が移住するような魅力あるまちづくりが大事。
- これから長い先のことを考えて新庁舎を建てるのに、買物公園の活性化が先に来ると道を誤るのではないかと思った。

#### (5)事業手法について

- 事業手法は直接建設方式で、市が活性化するよう庁舎の中にある備品までも含めて、オール旭川で建てるのが良い。
- 免震構造が必要な高い建物にすると、地元企業が参画が難しくなる。
- PFIを使えば、直接方式より金がかからないのだから、その手法を検討すべき。
- 検討資料のPFIの記載は、内閣府が示したとおりであるため、良い手法に見えない。地元企業中心のPFIを検討してもらいたい。
- PFIは一括発注のため、重層的な下請け構造になり、参加している多くの下請けは苦しい立場に追い込まれる。
- 資金調達の間では、過去の例を見ると、銀行から借りるより起債の方が安くなるので、分離発注が良い。
- 有名な建築家ではなく、地元の人が設計し、地元にもマッチしたものにしてもらいたい。
- 旭川にも有能な若い建築家がいるので、庁舎設計の監修をお願いするようなことを考えても良いのではないか。

#### (6)事業費について

- 庁舎建替えに異論はないが、人口が減る中で、市民の負担がどの程度増えるのか気になる。
- 豊島区のように、経費削減をするような事例を参考にしてもらいたい。
- 想定人口は、税収の推移を見るため年齢層も加味した方が良い。
- 他に土地を求めるとコストがかかるし、既存の土地は遊休地になる。
- 人口減少は明らかであり、税収も減少する中、行政サービスの低下を招いたり、

- 子どもたちに借金を残したりすることのないよう緊縮でやってもらいたい。
- 民間ビルの活用について踏み込んで考えると、毎年賃料はかかるが、建物そのものの経費は安くつくのではないか。
  - 費用を考えるときには、コストと便益（B／C）を示して、説明していく必要がある。
  - コストを示す場合に、現庁舎敷地を売却すれば建設費用に充てる事が出来るので、現庁舎等の財産の処分による収入も考えて示すべき。
  - 庁舎建設は、オリンピック以降にした方が、建設単価が有利になると思う。
  - 新国立競技場のような、予算が後からどんどん増えていくような事が無いようにしてもらいたい。

### **(7)現総合庁舎について**

- まず、現庁舎を保存するかどうかの結論を出さないと、現庁舎の場所に建替えを決めても頓挫してしまう。
- 既存の庁舎を全部壊すのではなく、使えるものは使うように考えなくては理解が得られない。
- 現庁舎のレンガなどを一部持ってきて、新庁舎に使ってはどうか。
- 現在の庁舎は学会賞をもらっているが、建物は使ってなんぼであるので、保存する必要はない。
- 古い庁舎を残しても、お金がかかり足かせになるだけである。

### **(8)その他**

- 一度建てれば長く使うものなのだから、時間をかけて検討してもらいたい。消去法でこうなったという事にだけはならないように十分議論していくことが大事。
- 新しい庁舎の大きさや中身について、もっとわかりやすく市民に説明してもらいたい。
- 庁舎が分散するのであれば、地下道や2階を回廊でつなぐなどして、道路を渡らなくても済むようにしてもらいたい。
- 耐震診断の後、今頃この資料が出てきて、旭川市は何をするにも遅い。
- それぞれの立場があるが、まちが衰退しないよう安全安心なまちづくりのため、少しずつ譲り合って、みんなが良いと思うような庁舎にってもらいたい。
- 1回建てたら60年間利用するので、みんなが集うような建物を建ててもらいたい。
- 人口減少が進む中、旭川市の人口が30万人を切らないように、達成していかななくてはならない。12年後の人口が31万2千人という目標は外さないでもらいたい。
- 今後、市がどのような施策を重点的に進めていくのか考えることで、庁舎の充実すべき部分や方向性も見えてくるのではないか。
- いかに市民を巻き込んで市民のものにしていくのかという考え方を進めて

- もらいたい。自ら出向いて行って、市民の意見を聞く機会を持ってもらいたい。
- 20年、30年先のことを考えて、子ども、孫の世代から、立派なものを造ってくれたなど思われるように進めてもらいたい。
  - 同じくらいの行政規模の都市で、どのような対策をしたのか調査し、事例をいくつかあげて市民に説明すると理解が深まるのではないか。

## 意見交換実施団体一覧

1	中央・新旭川まちづくり推進協議会
2	豊岡まちづくり推進協議会
3	東光まちづくり推進協議会
4	北星まちづくり推進協議会
5	末広・春光まちづくり推進協議会
6	春光台・鷹の巣まちづくり推進協議会
7	神居まちづくり推進協議会
8	江丹別まちづくり推進協議会
9	永山まちづくり推進協議会
10	東旭川まちづくり推進協議会
11	神楽まちづくり推進協議会
12	緑が丘まちづくり推進協議会
13	東鷹栖まちづくり推進協議会
14	旭川市市民委員会連絡協議会女性部会
15	旭川更生保護女性連合会
16	新日本婦人の会旭川支部
17	BPW旭川クラブ
18	ウィメンズネット旭川
19	I女性会議旭川支部
20	ハピネス21旭川
21	北・ほっかいどう 総合カウンセリング支援センター
22	しょうがい者権利条約を学ぶ会 Right
23	旭川市社会福祉協議会
24	旭川障害者連絡協議会
25	旭川市老人クラブ連合会
26	旭川市PTA連合会
27	育児サークル
28	旭川商工会議所
29	あさひかわ商工会
30	旭川観光コンベンション協会

31	北海道中小企業家同友会 道北あさひかわ支部
32	連合北海道旭川地区連合会
33	旭川市消防団
34	旭川市商店街振興組合連合会
35	旭川市中心市街地活性化協議会
36	旭川地区バス協会
37	旭川地区ハイヤー協会
38	子どもの夢会議
39	旭川消費者協会
40	旭川建設業協会
41	旭川建築協会
42	北海道建築士事務所協会旭川支部
43	旭川市管工事業協同組合
44	旭川空調衛生工事業協会
45	旭川電気工事業協会
46	創造と改革